

## 認知症サポーター中級講座

東京都認知症介護指導者 宇津木忠

キーワード：認知症サポーター養成講座 板橋区 板橋区地域密着型サービス事業所連絡会、地域包括支援センター 板橋区おとしより保健福祉センター

活動の概要(活動の主体:その他(板橋区地域密着型サービス事業所連絡会))

### 【活動目的】

認知症サポーター養成講座を修了された方々の次の活動の場を提供すると共に、行政と一体的に起案・実行することで、板橋区の認知症施策を進めていく。

### 【活動内容】

認知症サポーター養成講座を初級と位置づけ、ステップアップのための中級講座を考案する。また、板橋区の認知症施策と一体的に考え、ボランティア登録や介護業務に興味を持って頂くよう働きかける。これらの活動を継続的に実施し、チームオレンジを見据えた動きとしていく。

### 活動のきっかけ、背景(指導者としての立場で)

板橋区おとしより保健福祉センターより、板橋区地域密着型サービス事業所連絡会へ、認知症サポーター養成講座取得後の活躍の場を共に考案して頂きたいと打診あり。役員として活動中の東京都認知症介護指導者である猪股及び宇津木が中心に構成を行い実施となる

### 活動の経過と成果

#### 【活動の経過】

平成30年9月27日に第1回認知症サポーター中級講座を実施した。参加者は132名で、コグニサイズ、ユマニチュードの考え方、リフレーミングを宇津木が、認知症サポーター養成講座の振り返り、バリデーションを猪股が担当した。

令和元年には第2回認知症サポーター中級講座を実施。前回の振り返りを行い、

1日目は9月26日「認知症の方を介護する家族の気持ち」(参加:62名)

2日目は10月17日に「認知症の人の気持ち」を(参加:46名)

3日目は11月6日「認知症サポーターの活動発表・懇談会」(参加:42名)内容はイメージング、バリデーション、中核症状の体感を宇津木が、第1回のおさらいと認知症の人の気持ち、まとめを猪股が担当した。



#### 【活動の成果】

第1回では、定員80名の応募をはるかに超える参加申し込みを頂き、このような場の設定の重要性・必要性を感じた。実施後のアンケート結果においても、「大変よかった」「よかった」は98.29%と認知症に対する理解が深まる内容となる。ただ、参加者を様々なインフォーマルサポートへ繋げることを想定したものの、「ボランティア活動をしたい」と答えたのは15.38%と低く、具体的に繋がるケースは数件であり次回への課題となった

### 今後の展望

今年度においてはコロナ禍の影響にて開催することはできなかったが、この講座については板橋区おとしより保険福祉センターにて、毎年予算化される事業となる。板橋区内の地域報告支援センターとの連携を継続していくことで、声かけ訓練時のサポートや、各地域でのサロン等においても活躍して下さる方々を多く作っていききたい。また、板橋区認知症支援連絡会とも連携することで、今後展開される「チームオレンジ」や高島平地域でのモデルケースなど多岐に活躍したい。今後、新たなスキームとして各事業所協力の下「認知症サポーター上級講座」を考案し、高齢者福祉業界に就労を希望される方々を生み出せることを目標としている。

こちらの事例報告は、「認知症介護指導者養成研修等のアウトカム評価に関する調査研究事業報告書(令和2年度老人保健健康増進等事業)」の巻末資料【認知症介護指導者の活動事例】からの抜粋です。